

「カイリキJAPAN」広まれ



らい、ハンドボールの中心選手として大活躍でした。

ハンドボール男子日本代表のことを「彗星JAPAN」と呼びます。

「選手の放ったシュートの軌道が彗星と合致するから」という由来だそうです。

ちなみに英士朗さんが非公式ですが「ウエイトリフティングは○○JAPAN?」とSNSで投票を募ったところ、「カイリキJAPAN」の意見が多かったみたいです。カイリキJAPANが広まることを願っています。

英士朗さんが、パリ市内を散策していた時にたまたま安平選手と遭遇したそうです。この観戦記に掲載する用に撮影してくださりました。ありがとうございます。

安平選手も英士朗さんも自分たちの競技をメジャースポーツにしたいという思いがあり、富山県への思いもアツい選手です。「ハンドボールといえば氷見」「ウエイトリフティングといえば滑川」を目指してスポーツの拠点を築いてほしいです。

パリ五輪も折り返しましたね。氷見市出身の安平光佑選手が出場していたハンドボールも応援していましたが、惜しくも予選敗退してしまいました。残り0秒の最後の最後まで闘う姿がとても印象的でした。

英士朗と安平選手が遭遇



パリで笑顔を見せる村上選手（左）と安平選手
＝4日（村上里佳子さん提供）

村上里佳子（むらかみ・りかこ）＝旧姓清水。富山市出身、東京都在住。奥田中、滑川高、立命館大OG。パリ五輪ウエイトリフティング男子102^{kg}。超級代表・村上英士朗の妻。2017年全日本女子ウエイトリフティング選手権90^{kg}超級で優勝。27歳。